

【代表質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
1	<b>13番 田中 大佐久（一括質問）</b>			
	1. 市政運営について			
	(1)	より良い組織運営に向けた体制整備について	重大なパワーハラスメント事案について、市民の信頼回復に向けた、市長の覚悟と具体的な取組を問う。	市長
	2. 財政状況と今後の財政運営について			
	(1)	地方債の借入について	政策金利が上昇基調であり、市の財政負担が増加する懸念が強まっているが、その影響を問う。	副市長
	(2)	現在の財政運営での課題について	近年の市税収入や、歳出の大きな分野の増大を踏まえて、現在の財政運営での課題と感じていること、特に増えていく義務的経費や公共施設の維持管理費等への対応を問う。	副市長
	(3)	財政の健全化の取組について	人口減少や高齢化が進むが、今後5年、10年での財政の見通しは。また、財政健全化の取組や、重点施策の優先順位についての考えを問う。	副市長
(4)	財源確保について	子育て支援や医療・福祉施策、学校施設の老朽化対策、地域のインフラ整備等大切な事業を進めるために、必要な財源はどのように確保するのかを問う。	副市長	
(5)	今後の財政運営について	持続可能で安定した財政運営に向けての、副市長の考え、方針等を問う。	副市長	

【代表質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
1	<b>13番 田中 大佐久（一括質問）</b>			
	3. 教育の振興について			
	(1) 教育施策の成果について		GIGAスクール構想のもと、1人1台端末の整備が進み、ICTを活用した授業が定着してきたが、児童生徒の学びの変化や教育効果に対してどのような評価をしているか問う。 また、少人数教育や学習支援員の配置など、きめ細かな指導体制が図られているが、児童生徒一人ひとりに寄り添った教育という点で、どのような成果が上がっていると認識しているのかを問う。	教育長
	(2) 学校規模の適正化や学校配置のあり方について		少子化の進行により、今後、児童生徒数の減少が見込まれる中で、学校規模の適正化や学校配置のあり方についての課題認識を問う。	教育長
	(3) 教職員の業務負担の現状について		ICT教育の推進、不登校への対応、特別支援教育の充実など、教育現場に求められる役割が多様化する中で、教職員の業務負担の現状を教育長はどのように受け止めているのかを問う。	教育長
(4) 教育の展望について		少子化が進行する中においても、教育の質を維持・向上させていくために、今後、持続可能な学校づくりをどのような考え方で進めていくのか、方針を問う。また、不登校の児童生徒や、特別な支援を必要とする子どもたちを含め、誰一人取り残さない教育を実現するために、今後どのような施策を重点的に進めていくのか、教育長の所見を問う。	教育長	
(5) 教育理念と将来像について		能美市の教育を今後どのような姿に導いていきたいと考えているのか、その教育理念と将来像を問う。	教育長	

【代表質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
2	<b>14番 田中 策次郎（一括質問）</b>			
	1. 基金状況について			
	(1)	基金の取り崩しと今後の対応について	近年の決算によると、一般会計の基金残高は、令和6年度末には約9億円減少し、75億1,000万円となっている。また、令和8年度当初予算案においても財政調整基金は、13億円を繰り入れる予算となっている。今後、老朽化する公共・生活インフラの整備、市の安定した事業を押し進めていくための財源の確保などの課題に対し、今後の基金の維持・積み立て等についての対応を問う。	市長
	2. スマートインクルーシブシティ構想について			
	(1)	これまで行ってきたスマートインクルーシブシティ推進事業の評価と課題について	全国に先んじてスマートインクルーシブシティ事業に取り組んでいるが、これまで行ってきた事業の評価と課題について問う。	市長
	(2)	令和8年度スマートインクルーシブシティ推進事業の今後の展開と構想について	令和8年度のスマートインクルーシブシティ推進事業について、具体的な事業内容とこれまでの評価と課題を踏まえた上での、今後の事業展開とスマートインクルーシブシティ能美の構想について問う。	市長
	3. カーボンニュートラル推進について			
	(1)	市民生活と両立する脱炭素施策について	市民生活と両立する脱炭素施策である太陽光発電・蓄電池等への補助や断熱改修など住宅省エネ支援制度の利用状況と課題を問う。	市民生活部長
	(2)	学校・若者とゼロカーボンシティの連動について	持続可能なまちづくりは次世代育成と一体であるべきであるが、小中学校での環境教育の充実状況と若者の政策参加の仕組みを作る考えはあるのか。	市長
	(3)	ゼロカーボンシティに向けた具体的ロードマップについて	2050年実質ゼロに向けた具体的ロードマップは十分なのか。カーボンニュートラルは宣言することが目的ではなく、重要なのは、市民生活を守りながら地域経済を伸ばし、次世代への責任を果たすという三立をいかに実現するかである。本市の脱炭素政策が理念先行ではなく、市民が効果を実感できる実効性あるものとなっているのか、市長の覚悟を問う。	市長

【一般質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
<b>1番 山崎主税(一問一答)</b>			
1. 「人を大切にする組織」への再生と抜本的改革について			
(1)	客観的な労務管理システムの導入による「隠れ残業」の根絶について	PCの稼働履歴と自己申告の乖離という実態を踏まえ、個人の裁量に頼らない「客観的・物理的な管理仕組み」の導入と、業務削減の具体的な指針を問う。	総務部長
(2)	組織の自浄作用を高める「多角的な評価」と「独立した相談窓口」の構築について	閉鎖的な組織を打破するため、上司からだけではなく、同僚、部下等複数の視点から匿名で評価を行う「360度評価」の試行、完全に独立した「外部専門機関」による相談ルートの確立、およびマネジメント教育の義務化について問う。	総務部長
(3)	職員の尊厳を守る組織文化への変革と、市長の決意について	市長との直接対話やデジタル目安箱による風通しの良い職場づくりへの改善を提案するが、市の考えを問う。併せて、遺族の訴えを重く受け止め、組織を根本から作り直す市長の「不退転の決意」を問う。	市長
1	2. 地域デジタル通貨施策の今後の方向性について		
(1)	地域経済循環の活性化に向けた「能美トチポ」の位置づけと現状評価について	地域経済活性化のツールとして、具体的にどのような波及効果を狙い、現状をどう評価しているか問う。	産業交流部長
(2)	参照可能なデータに基づく「能美トチポ」の利用実態と分析について	ポイントの利用実績から見える市民の行動変容や課題の分析状況と、ポイントの流通を加速させるための今後の施策への反映方針を問う。	産業交流部長
(3)	既存施策との連動によるデジタル移行と「好循環の輪」の拡大について	紙の特典券を入り口に利用者の分母を増やし、「好循環の輪」を広げていくための具体的な施策と市の認識を問う。	産業交流部長
(4)	数字の裏側にある「想いや感謝」が巡る未来ビジョンについて	地域デジタル通貨を単なる決済手段ではなく「共創のインフラ」として将来の軸に据え、市が描く未来の社会像と市民の暮らしの展望を問う。	産業交流部長

【一般質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
2	<b>6番 中村純子(一問一答)</b>			
	1. 「能美市立病院」について			
	(1)	診療報酬加算について	診療報酬加算の取りこぼしが無いように、どのように対応しているのか。また、どのような診療報酬加算を取得しており、今後新たな加算取得を目指せる項目はあるのかを問う。	市立病院管理部長
	(2)	令和8年度診療報酬改定について	令和8年度診療報酬改定が能美市立病院に、どのような影響があると考えているのか、現時点の情報の中で今後の見通しを問う。	市立病院管理部長
	(3)	看護師確保対策について	今後更に厳しさが増すと想定される看護師確保には、どのような取組が必要になってくると考えているか問う。	市立病院管理部長
	2. 物価高騰対応重点支援地方交付金について			
	(1)	のみ応援特典券について	市民がもれなく「のみ応援特典券」をご利用いただくための周知や、事業効果を高めるために、利用できる店舗の確保などが必要と考えるが、具体的にどのような取組をしているか問う。	産業交流部長
	(2)	デジタル地域通貨「能美トチポ」の普及状況について	令和7年第2回定例会での質問後の登録状況と、これまで取り組んだ「能美トチポ」普及促進策、その中でも特に効果があると思われる普及促進策は何と捉えているか問う。	産業交流部長
	(3)	デジタル地域通貨の利用と更なる物価高対応について	今回示されている物価高対応の他に、今後、追加の物価高対応事業を検討していく予定はあるのか。併せて、県が実施するデジタル地域通貨事業との相乗効果を狙い、3月末で終了する「能美トチポ」登録キャンペーンの継続への見解を問う。	市長

【一般質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
3	<b>16番 東 正 幸（一括質問）</b>			
	1. 蛍光灯2027年問題の取組について			
	(1)	2027年蛍光灯の生産打ち切りの周知について	市民に向けた周知徹底・広報活動の予定はあるのかを問う。	市民生活部長
	(2)	市役所本庁舎のLED取替え工事について	既に市役所本庁舎で実施されたLEDへの取替え工事の状況と取替え本数や工事費用の内訳を問う。	総務部長
	(3)	今後の公共施設のLED化計画について	根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福祉会館、市内小中学校、各体育館などの大規模施設のLED化について、施設数とスケジュール、総費用の概算金額を問う。	市民生活部長
	(4)	LED化による財政的なメリットについて	公共施設の照明をLED化することによってどの程度の財政的なメリットがあるのか、市の現状認識を問う。	市民生活部長
(5)	各町会・町内会公民館のLED取替え費用の助成について	器具全体の取替え交換を考えると町会・町内会の負担が大きくなると思われる。LED化に関して必要な費用の支援をどのように考えているのかを問う。	教育委員会 管理局长	

【一般質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
4	<b>15番 南山修一（一問一答）</b>			
	1. 能美丘陵一帯における観光誘客の促進について			
	(1)	「こくぞう里山公園」の現状と整備等について	「こくぞう里山公園」の維持管理の現状と今後の整備等の予定について問う。	土木部長
	(2)	「和気の岩ドッグラン」の利用状況について	リニューアルオープン後の「和気の岩ドッグラン」の利用状況をどのように分析しているかを問う。	土木部長
	(3)	「辰ロフラワーハウス跡地」整備構想と整備に向けたスケジュールについて	「辰ロフラワーハウス跡地」整備構想の詳細と整備に向けた具体的なスケジュールを問う。	産業交流部長
	(4)	能美丘陵一帯の観光推進について	能美丘陵の観光資源を活用した能美丘陵一帯の観光推進についての見解を問う。	副市長
	2. スマートインクルーシブシティ推進事業について			
	(1)	スマートインクルーシブシティ推進事業のこれまでの実施状況について	「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」のため、これまで実施してきたデジタル化事業の状況を問う。	企画振興部長
	(2)	スマートインクルーシブシティ推進事業の成果を踏まえた今後の取組について	これまで推進してきたデジタル化の成果を踏まえ、安全・安心で快適な地域共生社会の実現に向け、今後のデジタル技術を活用したスマートインクルーシブシティ推進事業の取組を問う。	市長

【一般質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
5	<b>9番 今尾晃司(一問一答)</b>			
	1. 行財政改革タスクフォースの進捗について			
	(1)	歳出改革のための取組について	歳出改革のために取り組んだ、5つの項目、①全庁業務量調査 ②公共施設の維持管理費調査 ③市単独補助事業調査 ④公共施設整備の方針・検討資料の統一 ⑤事務作業の精査について、協議した成果を問う。	副市長
	(2)	業務量調査に基づく改善(案)について	業務量調査の結果を基にした改善(案)について、協議した成果を問う。	副市長
	(3)	行財政改革外部協議会について	令和7年度の取組の中で行われた、これまでの調査・見直し・検討の結果について、どの点を重視して、行財政改革外部協議会の人選を行い、立ち上げるのか、基本的な考えを問う。	副市長
	(4)	職員の働き方改革について	令和7年度のタスクフォースの取組を踏まえ、職員の働き方改革のために、現状の課題として認識している点は何か、職員の働き方を今後どのように変えていくべきなのか、市長の展望を問う。	市長
	2. 小中学校における生成AIの活用について			
	(1)	生成AIパイロット校事業について	生成AIパイロット校事業を進めてきたことの意義及び、指定校の校務におけるこれまでの研究の成果、そして、その成果の他校での展開について問う。	教育委員会 管理局长
	(2)	生成AIが子どもたちの学びに与える影響について	本市はリーディングDXスクール事業により、1人1台端末の活用を積極的に推進している。生成AIが子どもたちの学びに与える影響について、認識を問う。	教育長
	(3)	教育活動における活用について	社会のなかで生成AIの活用が急速に広がっていることを考え、子どもたちが自ら正しく活用するための視点が必要ではないか、教育長の考えを問う。ならびに、今後、生成AIパイロット校事業の教育利用の計画はあるのか。	教育長

【一般質問】

令和8年3月10日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
6	<b>3番 山本峰子(一問一答)</b>			
	1. GIGAスクール構想と発達障害のある児童生徒支援について			
	(1)	発達障害のある児童生徒の子どもたちへの支援について	発達障害の子どもたちの早期把握、就学後の支援体制、ICT機器の活用による学習支援の現時点での効果について問う。	教育委員会 管理局长
	(2)	ICTの活用による学習上の困難の軽減と不登校の未然防止について	ICTの活用が、学習上の困難の軽減にどのようにつながるのか。また、学習上の困難に起因する不登校の未然防止にどのように寄与するかを問う。	教育長
	(3)	通常学級に在籍する支援を必要とする児童生徒への支援について	通常学級に在籍する支援を必要とする児童生徒への具体的な支援策と、今後の方向性について問う。	教育長
	2. 能美市の小中学校における生成AI活用の教育的効果と課題について			
	(1)	生成AIパイロット校としての教育的効果について	授業における具体的な活用事例、児童生徒の学びの変化、教職員の働き方への影響についての現時点での効果について問う。	教育委員会 管理局长
	(2)	生成AIパイロット校としての課題について	生成AIの活用による思考力・判断力・表現力への影響、情報モラルや活用格差への認識と対策について問う。	教育長
	(3)	支援が必要な児童生徒への学習支援という観点での生成AIの活用について	生成AIの活用を支援が必要な児童生徒への学習支援という観点で、どのように展開していくのかを問う。	教育長
	3. 本市におけるパワーハラスメント案件について			
(1)	再発防止策の制度化について	第三者委員会の調査結果を、組織の風土改善および職員の命を守る具体的な仕組みにどのように反映させていくのかその具体策について問う。	市長	

【一般質問】

令和8年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
7	<b>10番 卯野修三(一問一答)</b>			
	1. 第3次能美市総合計画について			
	(1)	第2次総合計画の進捗状況と見直しについて	第2次総合計画の目標指標の進捗状況は各分野どのくらいか。また、進捗状況に応じて目標指標の見直しは定期的に実施したのか。	企画振興部長
	(2)	第3次総合計画におけるPDCAサイクルについて	第3次総合計画を遂行するにあたり、新規または継続する目標指標に対するPDCAを実施する時期や体制、方法について問う。	企画振興部長
	2. 連携協定の現状や成果、今後の展望について			
	(1)	危機管理課における連携協定の管理体制について	危機管理課に31の連携協定があるが、災害発生時の指示系統等、スピード感のあるピラミッド的管理体制は出来ているのか。	総務部長
	(2)	協定先とのコミュニケーションについて	連携協定先と、定期的なコミュニケーションが図られているのかを問う。	総務部長
	(3)	連携協定の締結の成果、展望について	連携協定を締結しての具体的な成果、及び今後の展望を問う。	総務部長
	3. 見本市等出展奨励事業の周知について			
	(1)	九谷焼作家への本事業の周知について	九谷焼作家には本事業をどのように周知するのか、その具体的方法について問う。	産業交流部長
	4. ウルトラマン誕生60周年記念事業で誘客促進を			
	(1)	ウルトラマン誕生60周年記念事業について	ウルトラマン誕生60周年、脚本家佐々木守氏ご逝去20周年となる年に、ウルトラマンを活用した誘客促進事業について問う。	市長

【一般質問】

令和8年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
8	<b>4番 中野廣志(一問一答)</b>		
	1. 認定こども園の入園について		
	(1) 2歳児の今後の入園について	令和8年4月入園の申請において、根上地区の2歳児が定員超過となって希望の認定こども園に入園できない状況にある。今後、この年代は3歳児、4歳児、5歳児になってもこの傾向が継続するのか、また継続する場合の市としての対策を問う。	健康福祉部長
	2. 小松基地周辺の騒音対策について		
	(1) 民防工事対象の拡充について	騒音レベル引き下げや民防工事対象の拡大等について、令和4年6月以後の国への要望内容を問う。	市民生活部長
(2) 令和8年度騒音補償エリアの見直しについて	近畿中部防衛局が行う令和8年度の第一種区域見直しスケジュールと方向性はどのようになるか、市の見解と対応について問う。	市長	
(3) 小松基地周辺対策事業の開示について	基地周辺対策事業による恩恵の実感が少ないと感じている市民に対して、基地周辺対策事業を事業名、事業金額で年度毎に開示すべきと考えるが市の見解を問う。	総務部長	
(4) 再編関連訓練移転等交付金について	再編関連訓練移転等交付金は令和8年度で終了するが、交付金を充当していた事業の今後の見通しについて問う。	副市長	

【一般質問】

令和8年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
<b>2番 牧野 緑（一問一答）</b>			
1. 市職員の業務バランス・管理方法について			
(1)	実労働時間の把握と仕組みについて	実労働時間の算出と現在の勤怠管理について、高負荷部署の早期発見に向けての仕組みづくりについて問う。	総務部長
(2)	人員と業務量のバランスについて	近年の職員数の推移と業務量の変化をどのように把握し、本市としての適正な人員と仕事量についてどのように捉えているのか。今後、職員数の削減に拘らず、必要に応じて増員することについて、市の考えを問う。	総務部長
2. 少子高齢化による介護保険負担の増加について			
(1)	介護保険財政の課題について	本市の介護保険財政の課題と中・長期的な見通し、現在の介護保険制度を維持していくためにどのような問題意識を持っているか問う。	健康福祉部長
(2)	介護サービス事業者への自立支援インセンティブ制度・介護予防について	自立支援インセンティブ制度を含め、要介護者の自立支援を促す取組の現状と課題を問う。また、健康寿命を高める政策を積極的に取り入れることについて市の見解を問う。	健康福祉部長
3. 子供たちが将来、能美市で暮らし、働くことについて			
(1)	働くための学びについて	将来、能美市の子供たちのふるさと愛の醸成と能美市で働くことをイメージする、働くための学びが必要と考えるが、市の取組について問う。	教育長
(2)	奨学金支援制度について	本市における“人材確保奨学金支援制度”の終了予定時期と各年度の申請者数上限について問う。また、補助金の交付媒体として能美トチポ以外の選択肢の幅を広げることにについて市の見解を問う。	産業交流部長

【一般質問】

令和8年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
<b>11番 仙台謙三(一問一答)</b>			
1. 能美市における「パワハラ対策」について			
(1)	パワハラ相談を受けての実態把握と初動対応について	市長はパワハラによって自ら命を絶たれた当該職員のパワハラ相談については、いつ知ったか。市長自身の対応について、あの時こうすれば良かったのではと思う点は何か。	市長
(2)	「外部相談窓口」の設置について	「内部相談窓口」の設置に加え、外部専門家による「外部相談窓口」の設置を検討すべきと考えるが、市の見解を問う。	総務部長
(3)	「なんでも窓口」の設置と外部委託管理について	内部及び外部通報制度とともに、職員が気軽に愚痴ったり呟いたりすることができる、仮称「なんでも窓口」を併せて設置してはどうか。この場合の管理者は外部委託とし、重要な案件は第三者委員会を通して市当局に報告したり、定期的にまとめを市長や副市長などに報告してはどうか。	総務部長
(4)	AI暴言検知システムの導入について	窓口職員等の精神的負担軽減とハラスメントの見える化のため、AIによる暴言検知システムの試験的導入を検討すべきではないか。また、職員間での協議を前提条件とし、内部におけるパワハラ対策にも活用できないか。	総務部長
2. 市長による「ハラスメント・ゼロ宣言」について			
10 (1)	市長による「ハラスメント・ゼロ宣言」について	毎年(度)、市長が職員や市民に向けた「ハラスメント・ゼロ宣言」を発出すると共に、年次報告を行い、相談件数や調査件数、認定件数、再発防止策を公表してはどうか。	総務部長
3. 白寿会館の入浴料値上げに対する激変緩和措置と定休日について			
(1)	白寿会館の入浴料値上げに対する激変緩和措置と定休日について	白寿会館の入浴料値上げに対する激変緩和措置として、期間と対象者を限定し、特別入浴券や回数券などを配布してはどうか。また、同館の定休日を他の2入浴施設に近づけるよう、定休日を週1日とすることはどうか。	健康福祉部長
4. 単身高齢者の見守りの取組について			
(1)	現在導入しているIoT見守り家電の現状と課題について	現在展開をしている、IoT家電を活用した能美市の見守り施策の現状と課題は何か。	健康福祉部長
(2)	単身高齢者の見守りを“あの手この手”で	能美市の見守り体制の強化のために、食欲にあらゆる取組を実施されることを期待するが、市の見解を問う。	健康福祉部長
5. 介護や福祉人材の人手不足対応について			
(1)	人手不足に対する施策として有償ボランティア制度を展開してはどうか	有償ボランティア制度または類似する取組を展開することによって、潜在的な人材開発と今後の中長期的な人材確保・育成につながるものと考えているが、市の見解を問う。	健康福祉部長

【一般質問】

令和8年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
11	<b>8番 佐伯 富美子（一問一答）</b>			
	1. パワハラ事案第三者委員会の報告に基づいて			
	(1)	第三者委員会の報告と5つの具体化の提言をどう受け止めているか	第三者委員会は、5点にわたり、提言を行っている。前提に「労働環境が不快なものになっていた」「違法性も認めえるものと思料する」と指摘しているが、この提言をどう受け止めているか問う。	総務部長
	(2)	能美市役所の衛生委員会の構成とパワハラ問題への対応について	衛生委員会は労使が一体として行う必要があるが、労働者代表は委員会構成員にいるのか。また、委員会でパワハラ問題を正式議題として議論したことはあるか。	総務部長
	(3)	労働施策総合推進法に基づくハラスメント防止対策について	パワーハラスメント防止対策は、体制整備を事業主の義務としているが、どのような措置を行ってきたのか問う。	総務部長
	(4)	ハラスメント10項目指針を職員に周知・徹底してきたか	厚生労働省が示す、ハラスメント対策において事業主が講ずべき措置10項目指針を掲げ周知・徹底するよう求めているが、取り扱いの実態はどうなっているのか。	総務部長
	(5)	アンケート調査をどのように進めるのか	市長は全職員にアンケート調査を行うと明言したが、非正規職員も対象にするのか。また、職員のプライバシーが守られることが大前提と考えるが、どのように進めるのか問う。	総務部長
	2. 能美市職員の働き方改革について			
	(1)	市職員の時間外勤務の管理について	時間外勤務に係る理由書は何を目的に義務付けられているのか。また、30時間、45時間の区別には意味があるのか。時間外を減らすための手段に使われていないのかを問う。	総務部長
	(2)	時間外管理は合理的な仕組みの導入が必要ではないか	本人の事前申請や実績申請に基づく時間外勤務の管理は、本人の申請忘れ、今回のような上司による恣意的判断が入り込む余地がある。時間外勤務の管理はタイムレコーダーのような合理的管理の導入が必要と考えるが見解を問う。また、実績申請については庁舎外での業務に限るべきと考えるが併せて見解を問う。	総務部長
	(3)	仕事量にあった人員確保が必要ではないか	人手不足による加重労働によって長時間労働が生じていると考えるが、適正な人員配置を行うことを検討しているのか、見解を問う。	総務部長
	(4)	適切な措置が取れず、自殺に至ってしまった経緯について	早い時期に適切な処置がとられていれば、自殺に至らなかったかもしれないが、なぜ早期に関係機関につなげなかったのか。また、御両親に伝えなかったのはなぜか、経緯を明らかにせよ。	総務部長
	(5)	労使双方が人権を守る努力を	雇用主の市長と、職員の間には双方が人権を守るという意識が必要である。そこで、労働者を守る組合を作る必要があると考えるが、そうした動きがあった場合、市長はどういう見解で臨むのか。	市長

【一般質問】

令和8年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
12	<b>5番 荒井昌宏(一問一答)</b>			
	1. 学校教育の充実について			
	(1)	フォローアップスクール事業における講師の確保について	講師を確実に確保することが重要と考えるが、現在は何名の講師で実施しているのか。また、確保の状況を問う。	教育委員会 管理局长
	(2)	フォローアップスクール事業の実施場所について	200名を超える児童が参加しているが、市内のどこの施設で、何箇所で行っているのか。また、今後、会場を増やす考えはあるのかを問う。	教育委員会 管理局长
	(3)	特別支援教育支援員の現状と今後の課題について	特別な支援を必要とする児童生徒数が増加しているが、特別支援教育支援員の確保の現状と今後の課題を問う。	教育長
	(4)	コミュニティ・スクールにおける学びとサポーターの発掘について	地域の方からどのようなことが学べたのか。また、今後学校のニーズに対応するサポーターの発掘を進めるのかを問う。	教育長
	2. 福島グランパーク複合商業施設について			
(1)	開業の予定時期について	2024年の計画発表時の報道では、2026年開業を目指すとあるが、現在の進捗状況と今後の予定を問う。	市長	

【一般質問】

令和8年3月11日

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
13	<b>7番 澤田 貞（一問一答）</b>			
	1. 特別職の処分について			
	(1)	特別職の処分を定める規則等の服務規程について	本市職員の死亡事案を受け、特別職の市長は給料の2/10を3カ月間減額、副市長は給料の1/10を3カ月間減額とした。管理監督責任者として減額率と期間の根拠と判断基準について、妥当とする根拠を示せ。	総務部長
	2. ハラスメントの防止・対策について			
	(1)	職場における相談体制づくりについて	再発防止措置として、職員が日頃相談しやすい体制づくりが肝要で、相談窓口の担当者が内容や状況に応じ、適切に対応できる人員配置が必要と考えるが、市の見解を問う。	総務部長
	(2)	能美市として、ハラスメントに対し雇用管理上必要な措置を講ずる義務の適切な履行について	職場におけるハラスメントの原因や背景となる要因を解消するための取組について問う。	副市長
	(3)	労働組合の設置について	市長は今月末までに内部管理体制の見直しや再発防止策を整えるとした。そこで、職員労働組合を立ち上げる機運を高め、双方が一緒になって働きやすい職場環境を創り上げていくことについて、市長の考えを問う。	市長
	(4)	職員パワハラ自死の公務災害について	あつてはならないパワハラに依る職員の自死であるが、今後の公務災害と地方公務員災害補償制度の取組を問う。	総務部長
	3. 知事選を終えて			
	(1)	3月8日の投票結果を受けて	国政、県政が目まぐるしく変化する中で、能美市民のトップとして、行政の舵取り役の市長としての矜持と政治スタンスを問う。	市長
	4. 職員のモチベーションについて			
	(1)	令和8年度の定期人事異動に向けて	職員のモチベーションは欠かせないものであり、有給休暇の取得や残業時間の縮小など風通しの良い職員配置となるための定期人事異動への思いを問う。	総務部長